



会より さくら だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第62号 2022年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>



心がけたのは、カラフルで見た人が元気になるような花束です。立体的に見えるように工夫しました。



出来上がった作品は、南大井高齢者保健福祉複合施設1階ロビーに展示しました。折り紙には、それぞれ思いのこもったメッセージが書かれていて、活動再開を待ち望む声も多くいただきました。

ボランティア活動も未だコロナ前には戻らず、施設内はどことなく寂しい雰囲気もあります。沢山のメッセージが書かれた花束は施設内を元気に明るくしてくれました。

今後も、活動内容や方法を工夫することでコロナ禍でもより多くの方がボランティア活動で活躍していただけるよう取り組んでまいります。

さくら会では、ボランティアと職員の交流の機会として、例年6月頃に「ボランティア交流会」を開催しています。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大のためやむなく中止、今年度も対面での実施は中止となりました。代わりにボランティアと職員共同でできることを企画し、大きな「折り紙の花束」を制作することにしました。

作品のテーマは、明るい未来が訪れるよう「幸せや希望・平和への願いをこめて、大きな花束を作りましょう」としました。ボランティアの方々が折り紙で花を作り、職員が花束に仕上げました。



さまざまな大きさや形の花の折り紙が届きました。一番多かったメッセージは、「ありがとう」でした。

ボランティアの皆さんとの共同制作「折り紙の花束」

長寿を祝う会

ケアセンター南大井

ケアセンター南大井では、9月14日、19日に「長寿を祝う会」を開催しました。

コロナ禍のため、ご家族の参加や一堂に会する式典は行えませんが、節目を迎えられた18名の皆さまを囲み、その他のご利用者の皆さまと職員でお祝いをしました。

18名の皆さまには、赤や黄色、紫や白など、色鮮やかなちやんちゃんこを身にまとい頂いて頂き、心を込めてお祝い状をお渡ししました。それ以外のご利用者の皆さまにも日頃の感謝を込めて感謝状をお渡ししました。



会の最後に、大井消防少年団の皆さまからの手作りメッセージカードのプレゼントがあり、受け取られるととても喜ばれていました。

私たち職員は、コロナ禍にも負けず、今後もこの会を続けていくことを心に思い、そしてご利用者の皆さまと過ごせることに感謝した一日でありました。



高齢者住宅の活動の様子

品川区立大井林町高齢者住宅

大井林町高齢者住宅では、毎週金曜日の午後にご入居者の自主活動として『手芸クラブ』を行っています。各自、制作したい物の材料を持参され、着物をコートにリメイクされたり、編み物でベストや小物を作られたりしています。



一人で編むより、みんなと編むのが楽しいです♡

お互いに作り方を教えあう様子も見られ、楽しく活動されています。



着物をコートにリメイクしました

しながわCSR企業

連絡会に参加しました

7月13日(水) 社会福祉法人品川区社会福祉協議会・品川ボランティアセンターが主催する第29回しながわCSR企業連絡会(品川区に事業所を有する企業や団体等の社会貢献活動が円滑に行われるように、各種の調整や情報交換を行うことを目的とする会)で「コロナ禍で求められるボランティア活動」について発表させて頂きました。日頃の活動状況の報告の他、オンラインでできるハンドケアの講習や動画の視聴等、ご利用者の楽しみにつながる活動を施設の要望としてお伝えしました。企業の皆様からは温かいメッセージを沢山頂き、これを機に交流を深めていきたいと考えております。

企業の皆様、そしてこのような機会を作って下さいました品川区社会福祉協議会・品川ボランティアセンターの皆さまに心より感謝申し上げます。



月見橋7月地域行事

「コロナに負けずに繋げよう」トの輪」

品川区立月見橋在宅サービスセンター

7月7日(木) 月見橋在宅サービスセンターで八潮ハーモニーの皆様の協力を得て地域行事企画極楽横丁「灯りで繋ぐまちづくり」を開催しました。「極楽横丁」の企画は参加された方が暮らしている地域を昔「極楽横丁」と呼んでいたというお話から引用しました。

企画は2部構成とし、1部は日中にプロカメラマンによる撮影会・八潮ハーモニーの皆様による手作り品の販売会・手品の披露・ワークショップなどが和やかに行われました。地域にお住まいの方も40〜50名立ち寄り頂けたようでした。撮影会に参加されたご利用者は普段とは違う表情を見せてくださり素敵なお会となりました。

2部は月見橋のご利用者や南大井保育園の園児達の共同作成による寅の形をした「福寅ちゃん」のキャンドルを事業所内や事業所横南大井6丁目付近まで渡って飾り、ライトアップしました。キャンドルの灯りは優しく、道行く人も足を止め、暫し目を留めたり写真を撮っている人も見掛けました。

「コロナ禍で思うように集まることが難しくなっていました。当日は参加された皆様のご協力もあり無事に終えることができました。参加された方からも「久しぶりで楽しかった」「またやってほしい」との声を頂きました。

「コロナ禍だからこそ工夫をして今後も地域に暮らす人たちを繋げられる事業所であり続けられるよう努めて参ります。



第1回認知症

サポーター企画会議開催

品川区立月見橋在宅サービスセンター

令和4年7月7日に品川区役所で区では初となる「認知症サポーター企画会議」が行われました。当法人より、品川区立月見橋在宅サービスセンターの所長で認知症地域支援推進員の橋本剛が講師として参加しました。

認知症の人の暮らしやすい街とは「誰にとっても暮らしやすい街」であるはずという考えを基本に、また、認知症を自分事として捉え直した視点でグループワークが行われました。



開催し、具体的な内容を形にするところまで進めていく予定です。認知症サポーターの皆様、奮ってご参加ください。お待ちしております！

まちづくりの主役は、そこで暮らす全ての人です。認知症であっても無くても暮らしやすい街、過ごしやすい居場所とはどのようなものなのかを自分事として考えながら、活発な意見交換が行われました。本企画は今後も2〜3ヶ月おきに

ホームページ

リニューアルについて

この度、約8年ぶりにホームページを全面リニューアルいたします。さらら会のことをより多くの方に知ってもらいたいとして、ホームページの充実化を目的に、各部門から集まったプロジェクトメンバーを中心として、企画から約8か月に渡りホームページの内容を検討してまいりました。

さらら会の各種事業やサービス内容、介護施設におけるリハビリの役割、施設の紹介やご利用者の過ごし方、スタッフの様子やさらら会自慢の食事内容など、皆様にお知らせしたいことがたくさん詰まったページ構成となりました。是非、『社会福祉法人さらら会』と検索していただき、新しくなったホームページをご覧ください。(尚、公開は11月下旬を予定しております。)

10月10日は

「目の愛護デー」です

眼球は加齢とともに構造的にも機能的にも様々な面で衰えてきます。

そしてその状態に何かストレスが加わると、見る機能に障害が出る場合があります。目の病気の原因となる疲労をためないような生活を心がけましょう。

目の健康維持のポイント

- ① 目を休ませる
 - 1 時間毎に10分程度目を閉じたり、まばたきをゆくりと繰り返すなど、目のストレッチをしましょう。
 - 睡眠も目の疲労回復には重要です。しっかりと睡眠を取りましょう。
- ② 目に優しい栄養を摂る
 - バランスの良い食生活を旨指すことはもちろんですが、目の健康維持に必要な栄養を摂ることもおススメです。
 - アントシアニンを豊富に含む、ブルーベリーなどのベリー類
 - ルテインを含む、ほうれん草などの緑黄色野菜
 - DHAを豊富に含む、青魚や鮭、鰹など
- ③ 眼科検診を受ける
 - 目に何らかの異常を感じた時や症状が改善しない時は、早めに眼科受診をしましょう。

目の健康寿命をのばそう

アイフレイル

チェック

がんばってきた目とこれからも仲良く

セルフチェック

2つ以上当てはまったら、アイフレイルかも。眼科で「アイフレイルをチェックしたい」とお伝えください。

1 目が疲れやすくなった	2 夕方になると見にくくなることもある	3 新聞や本を長時間見ることが少なくなった	4 食事の時にテーブルを汚すことがある	5 眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった
6 まぶしく感じやすい	7 まばたきしないとほっきり見えないことがある	8 まっすぐの線がぼけて見えることがある	9 段差や階段で危ないと感じたことがある	10 信号や道路標識を見落とすことがある

アイフレイルは加齢による目の機能低下です
40才を過ぎたら、点検という感謝を！

くわしくはこちら

日本眼科学会編 | 公益財団法人日本眼科学会 | 公益社団法人日本眼科医会 | 一般社団法人日本眼科医療機器協会
一般社団法人日本コンタクトレンズ協会 | 一般社団法人日本眼科用剤協会

ついに今年ついに中止のお知らせ

令和4年11月に予定しておりました『さくら会まつり』ですが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み、大変残念でございますが中止することとなりました。



……専門職に聞く……

連載NO.21

品川区立月見橋在宅サービスセンター

介護職 宮本 紀美子

Q1 仕事の内容

ご利用者の送り迎え、食事準備と食事介助、入浴の介助をしています。午前、午後とご利用者と一緒に体操を行います。

Q2 専門職として心掛けていること

ご利用者一人ひとりに対し、寄り添った介護を行い、その日を笑顔で過ごして頂けるように心掛けています。

Q3 ご利用者、読者に向けてメッセージ

仕事が休みの日は、大好きな電車に乗って、駅から海が見える場所に行き、気分転換をしています。気分転換をした後は、また皆様と一緒に笑顔で楽しい時間を過ごしたいと思っています。

次回1月号は「言語聴覚士」
阿竹綾香さんの登場です！



さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和5年1月です。